

防災の大切さ親子で学ぶ

担架で搬送、水鉄砲など体験



消火器を模した水鉄砲で、火を描いた的を狙う子ども＝中央区協浜海岸通1

センターが開いた。

子どもらは、消火器を模した水鉄砲で火を描いた的を狙ったり、人形を乗せた担架を親と協力して運んだりした。日没後には、地元の渚中学校の生徒がカウントダウンの発声をし、同センター西館壁面がライトアップ。武庫川女子大生による電子ピアノ演奏もあった。

水鉄砲を使った垂水区の小学1年、森井菜々さん(6)は「何回か水を打つても、なかなか的に当たらなかった」と消火作業の難しさを実感していた。

中央区

体験コーナー1の人と防災未来センターで遊びながら防災の大切さを学

ぶ「HAT減災

地域の住民らが交流

サマー・フェス」が27日、中央区協浜海岸通

を持つ場になればと、同

(藤村有希子)